

会 議 録

1 会議名

第5回上越市自立支援協議会

2 議題（公開・非公開の別）

上越市障害者福祉計画の改定に向けた検討（公開）

3 開催日時

平成30年3月26日（月）午前10時から

4 開催場所

福祉交流プラザ 1階 会議室1

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：丸山ひろみ、平原朝子、青木美代子、難波裕子、（代理）片桐友紀、
（代理）川室利弥、田邊信、藤澤典子、藤田宏禔、山川美香、新保由美、
笠原芳隆、渡辺晶恵、（代理）藤田健一郎、横山新太郎

・事務局：福祉課 小林副課長、藤井係長、大島主任

8 発言の内容

（小林副課長） ただいまより、第5回上越市自立支援協議会を開催いたします。

皆様には、ご多用の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、この会の前段の進行を務めます、上越市福祉課副課長の小林でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、藤井委員、福山委員、飯塚委員、近藤委員、金井委員の5名から欠席報告がありました、また丸田委員の代理として片桐様、山崎委員の代理として川室様、澤田委員の代理として藤田から出席をいただいております。上越市自立支援協議会設置要綱第6条第3項により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。

本日の日程であります、お手元に配布いたしました「次第」に沿って

ご協議いただくこととしており、会議は概ね1時間30分程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、次第の2議題に移ります。

ここからは、上越市自立支援協議会設置要綱 第6条第2項の規定により、笠原会長に進行していただきます。笠原会長、よろしくお願いいたします。

(笠原会長) それでは、私のほうで議題を進めさせていただきます。議題(1)の①上越市障害者福祉計画の策定について、事務局から説明をお願いします。

(藤井係長) 上越市福祉課、福祉第一係長の藤井と申します。よろしくお願いいたします。上越市障害者福祉計画の策定について説明いたします。

(資料1の説明)

(笠原会長) ありがとうございます。ここまでの事務局の説明について、ご意見・ご質問などがありましたら、挙手のうえ、ご発言をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

ないでしょうか。

続いて、議題(1)の②「専門部会の取組について」です。事務局から説明をお願いします。

(大島主任) 上越市福祉課、大島と申します。よろしくお願いいたします。専門部会の取組について説明いたします。

(資料2の説明)

(笠原会長) ありがとうございます。ここまでの事務局の説明について、ご意見・ご質問などがありましたら、挙手のうえ、ご発言をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

ないでしょうか。

続いて、議題の(2)「平成30年度に取組む地域課題」について、事務局から説明をお願いします。

(藤井係長) 平成 30 年度に取り組む地域課題について説明します。

(資料 3 の説明)

(笠原会長) ありがとうございます。ここまでの事務局の説明について、ご意見・ご質問などがありましたら、挙手のうえ、ご発言をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

(丸山委員) 質問ですが、計画の中で 57、58 ページの児童発達支援センターの設置が挙げられていますが、方針決定に向けてどのように進めていこうと事務局としては考えていますか。

(小林副課長) 児童発達支援センターについては、庁内で議論を進めています。児童発達支援センターを設置するには給食を実施しなくてはなりません、委託は認められておらず、事業所が給食を作って提供することになります。どのように運営していくのか検討しています。合わせて療育支援、相談支援事業、保育所のすべてが整ってセンターになりますが、センターに近づけることができなければ、児童発達支援事業として対応していきたいと考えています。詳細については今後、検討を進めていきます。

(丸山委員) 児童発達については何度も議論しており、就学前、及び就学後の相談や支援体制をどうするかは大きな課題となっております。庁内だけでなく民間の意見も交えて考えてほしいです。

(小林副課長) ご指摘のとおり市だけでなく皆様からご意見を頂きながら進めていきます。

(山川委員) 乳幼児期から関わっていますが、当事者として何が正解か未だに分かりません。ただ児童発達支援センターは必要ですし、その後大人になってからの支援が、市役所、事業所、本人、こども、大人、とつながる体制が整うと頼りやすいと思います。

(新保委員) 医療的ケア児の保護者と在宅の重症心身障害者へのアンケート調査を実施して頂いてありがとうございました。この結果につきまして、市、基幹、福祉事業所、医療機関、教育機関等と情報を共有するとともに、児童発達支援について皆様で一体となって課題を検討していただきたいと考えています。家族側も勉強会や制度の説明会に参加して一緒になって前へ進んでいきたいです。

(横山委員) 児童発達支援センターはどうあるべきか整理しております。保護者の方や利用者からの意見を踏まえて検討していきたいです。また事業発達支援事業については民間での実施も可能ですので、合わせて市としてどうすればいいのか、自立支援協議会でもご相談していきたいです。

(笠原会長) 縦軸と横軸の連携があると思いますが、ライフステージに合わせた連携ができると良いと思います。周りの市町村も参考にしながら考えるのも一つの手だと思います。

(青木委員) 平成29年度の専門部会の取組結果についてわかりやすくまとめて頂きありがとうございます。次年度以降の対応の部分で「市が実施」して、どうなったのか知らせてほしいです。このような場も活用すると良いと思います。

(小林副課長) 平成30年度以降に市で実施しましたら自立支援協議会で報告したいと思います。ちなみに、平成29年度は強度行動障害について市の主催で研修会を開催しました。基礎と実践コースで2回行い58人に受講してもらい、大変好評でした。平成30年度も実施したいと思います。今後市内の事業所へ派遣できる強度行動障害の専門員を作ったり、行動障害で困っている事業所へアドバイスや指導できる体制をつくっていきたいです。事業所合同説明会は年々参加者が増加しています。さらに周知するためお知らせを普通学校の特別学級まで広げていきたいと思います。興味をもってもらうためにおまけをつけたり、事業所もPRしてもらい良い関係ができて

いると思いますので来年度も実施を考えています。

(横山委員) 参考1「当初予算の新規・拡充事業について」の資料を入れましたが、すでに動いている事業もあります。小林副課長が説明したような内容を、次回以降は整理してどのように予算に反映しているか見えるように資料も工夫していきたいです。

(山川委員) 保護者として更に自分たちの事を勉強することも課題ですが、勉強していく上で困った時にどのように声を上げればよいのかわからない部分があります。私はこのような場に関わっているので言えますがほとんどの方がそうはいかないので、緊急性のある困りごとや市をこうした方が良いという意見等を上げる場、窓口のようなものについて考えてほしいです。団体でもがんばっていこうと思いますが、声にならないけれど困っている事をどのように拾い上げていくのか、協力していただけると嬉しいです。

(小林副課長) 障害者団体の皆さんは総会等の機会に報告できますが、サービスを受けていない人たちには広報上越やホームページなどで情報提供をしていきたいと考えています。福祉課や基幹で話せるような環境づくりも検討しながら進めていきたいです。

(藤田委員) 別紙1②「精神障害者の地域生活移行の促進」について検討の方向性として保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置と記載されていますが、本人のケアが1番大事です。また協議の場というのはどのようなものを想定していますか。

(横山委員) これから自立支援協議会の場を活用できないかと考えておりますが、具体的なところは今後の検討課題としています。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築についても考えていきたいです。同様に④「医療的ケア児支援のための協議の場の設置」ですがどのように設置すれば良いのか皆様からもご意見を頂きたいと思います。

(笠原会長) 様々なご意見ありがとうございました。最後に、本日の会議全体を通じて、ご意見・ご質問などがありましたらご発言をいただきたいと思います。いかがでしょうか。それでは、本日の議題が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

(小林副課長) たいへん貴重なご発言を多数いただき、ありがとうございました。続きまして、次第の3、その他でございます。事務局から2点連絡がございます。

(大島主任) 1点目は参考1の「平成30年度当初予算の新規・拡充事業について」です。(参考1の説明)

2点目は平成30年度のスケジュールです。自立支援協議会は8月から9月頃と3月頃の2回を予定しております。来年度も引き続きご協力をお願いいたします。

(小林副課長) その他について、ご意見・ご質問はございませんでしょうか。

(藤田委員) 参考1の2「農福連携6次産業化モデル事業」についてですが、生産から加工、販売までの一連の工程に関わる取組とは具体的にどのような方法をお考えでしょうか。

(藤井係長) 市では平成27、28年度はサービス事業所が農家に入ってもらい農業の中での就労を始めてまいりました。しかし短期間の就労や収入面の自立を考えると厳しいので、品物の加工や販売まで関わり通年雇用や賃金アップを目指していきたいと考えています。他の自治体の事例も参考にしながら、安定した雇用ややりがいにつなげていきたいです。

(藤田委員) 対象になるのは雇う側ですか。

(藤井係長) まずは雇う側とお話して進めていきたいです。

(小林副課長) その他に、ご意見・ご質問はございませんでしょうか。なければ、本日の会議は、これにて閉会といたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

9 問合せ先

健康福祉部福祉課福祉係 TEL : 025-526-5111 (内線 1150)

E-mail : fukusi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。